

第一支部

(1) 報告

ア. 第1回支部勉強会

(ア) 日時：2018年10月9日(火) 19:00～21:00

(イ) 場所：浦和コミュニティセンター 15集会室

(ウ) 参加人数：41人

(エ) 内容：

メーカー講演 座長：済生会川口総合病院 森 一也

『高解像、高感度、高画質』を実現するコニカミノルタの最新技術

コニカミノルタジャパン株式会社 ヘルスケアカンパニー北関東支店 窪谷 大樹

一般講演 座長：済生会川口総合病院 戸澤 僚太

全脊椎長尺撮影の計測法から撮影のチェックポイントを探ろう

済生会川口総合病院 眞壁 耕平

造影検査のギモン

済生会川口総合病院 西田 衣里

特別講演 座長：済生会川口総合病院 西田 衣里

Dual energy の新たな世界

済生会川口総合病院 富田 博信



眞壁さま



西田さま



富田さま

イ. 浦和区健康まつり

- (ア) 日 時：2018年11月4日（日）10：00～15：00
- (イ) 場 所：浦和コミュニティセンター
- (ウ) 内 容：「あなたの骨は大丈夫？」骨密度測定
- (エ) 参加人数：15人
- (オ) 測定人数：360人



右側：浦和区長あいさつ 山岸千枝子さま



健康フェア 第一支部会場



骨密度測定風景



第一支部お手伝いの皆さま

ウ. 平成 30 年度支部合同勉強会 in 熊谷

- (ア) 日時：平成 30 年 11 月 10 日（土）
- (イ) 場所：森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテージ

第二支部

平成 30 年度第 4 回勉強会技師講演座長集約

防衛医科大学校病院 野瀬 英雄

平成 30 年度第 4 回勉強会の技師講演は、東京女子医科大学病院の森田康介氏に「下肢立位撮影について」を発表していただきました。発表内容は、下肢の立位を撮るための姿勢の構成要素の解説から始まり、撮影時のポジショニングでの荷重のかけ方と再現性についての考え方を教えていただきました。荷重のポイントとしては、裸足になることが基本であり、それだけで姿勢が大きく変化すること、両足の幅を変えて立つだけでも重心位置や負荷が変わること、そして視線は水平より 30 度低くすると中間位に近い姿勢になることなど大変勉強になりました。そしてポジショニングは 5 秒間安定していること、どんな患者さんでも同じ肢位がとれることを前提として考えれば再現性が得られるということを強調されていました。また、足を前後に出すタンデム肢位は、負荷の度合いが分からないため、基本的には使用しないということです。

撮影法では、膝の立位正面とローゼンバーグによる比較のポイントや下肢立位撮影における AP と PA 撮影の評価ポイントおよび再撮影の判断基準、外反母趾の撮影法などを学びました。そして、立位骨盤斜位 (False Profile) 撮影は、現状、再撮影率の高い撮影法であるが、トモシンセシスが有用であるという研究についての話も聞かせていただきました。

画質と被ばくについては、アライメントの評価のみであれば、画質はアライメントが確認できるところまで積極的に被ばくを抑えて撮影する。若年者の生殖腺防護については、骨盤領域も診断に含まれているため生殖腺防護はしていないが、診療科で説明を行った上で検査しているために、これまでのところ患者さんからのクレームはないということです。

今回の講演を拝聴して、下肢の立位を撮るための考え方のポイントは、やはり荷重のかけ方 (姿勢) とその再現性を担保することが何より重要であるといえます。これらのポイントの考え方や優先順位は、施設によって違って当然であり、臨床的にも画像上必要となる計測点や疾患が違えば当然画質も姿勢も変わるので、ご自身の施設で今撮影している方法、被ばくと画質、患者に負担を強いているその方法が適切かどうかを改めて確認してみるといいかもしれません。また、依頼をする医師によっても、読影する医師によっても必要となる条件は常に変わっていきますので、日常的に依頼する診療科とのコミュニケーションを取っておくことやカンファレンスに積極的に参加することは、よい撮影をするためにも大切なことだといえます。

第三支部



第三支部理事 山岸 正和

寒さに凍える日々が続きますが皆さまいかがお過ごしでしょうか。

まだ暑さの残る9月に開催されたリレー・フォー・ライフ川越2018では、多くの第三支部会員の参加のおかげで無事リレーをつなぐことができました。10月のボウリング大会では埼玉医科大学病院の關杉さんが見事優勝しました。(腰痛で見学だった私も参加者のスコアを見比べながら勝手に優勝者を予想して楽しんでいました)

11月の川越市健康まつりでは医療画像展ブースに600人を超える市民の方々にご来場いただきました。今回は骨密度測定も実施し喜んでいただけたと思います。さらに今年も開催された支部合同勉強会でも、役員の方々の協力の下、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

年度末も近づきますが、今後も勉強会やイベントを企画しております。皆さまのご参加をお待ちしております。

【報告事項】

- (1) リレー・フォー・ライフ川越2018
 - ア. 開催日時：平成30年9月15日(土)～16日(日)
 - イ. 開催場所：川越水上公園 芝生広場
 - ウ. 内 容：がん征圧に向けたチャリティー活動
 - エ. 参加人数：49人(第3支部会員)

- (2) 支部ボウリング大会
 - ア. 開催日時：平成30年10月19日(金)
 - イ. 開催場所：B00-BOSS BOSS
 - ウ. 参加人数：33人



(3) 第32回川越市健康まつり

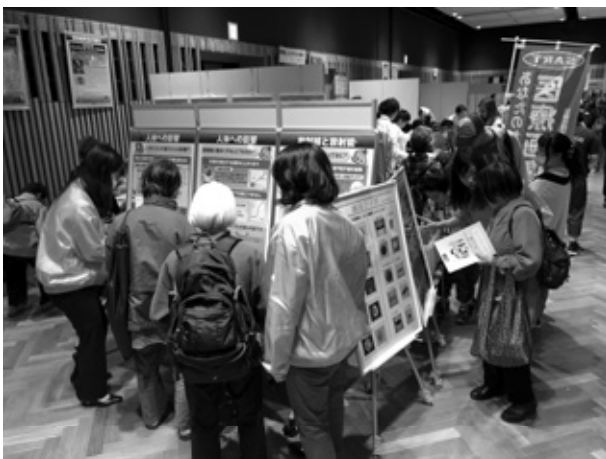
ア. 開催日時：平成30年11月4日（日）

イ. 開催場所：ウェスタ川越 多目的ホール 他

ウ. 内 容：医療画像展・骨密度測定・被ばく相談

エ. 参加人数：10人

オ. 来場者数：651人（当ブース来場者）



(4) 支部合同勉強会

- ア. 開催日時：平成 30 年 11 月 10 日（土）
- イ. 開催場所：四季の湯温泉ホテルヘリテージ
- ウ. 内 容：研究発表、講演、懇親会
- エ. 参加人数：三支部より 32 人

【今後の予定】

(1) 支部新年会

- ア. 開催日時：平成 31 年 1 月 26 日（土）19:30～
- イ. 開催場所：彩々 川越店

第三支部の活動詳細は・・・ホームページ <http://saitama3shibu.jimdo.com/> をご覧ください。

第四支部

第四支部勉強会報告

第四支部 萩原 貴之

平成 30 年 9 月 27 日（木）、熊谷市「さくらめいと」で、第四支部勉強会が行われ、57 人の参加となりました。

内容は以下の通りでした。

腹部骨盤領域の MRI 症例検討	座長	小川赤十字病院	山田 伸司 氏
・ MRCP について		熊谷総合病院	田中 智大 氏
・ EOB を用いた肝臓 MRI		深谷赤十字病院	登坂 崇史 氏
・ 前立腺検査		羽生総合病院	石川 剛浩 氏
・ 婦人科骨盤領域の MRI 検査		小川赤十字病院	橋本亜矢子 氏

多くの方に参加いただき、活気ある勉強会となりました。

今後も会員の皆さまに興味を持っていただける企画を提案していきたいと思っております。



講師の皆さま ありがとうございました！！



第13回 深谷市福祉健康まつり 参加報告書

第四支部 柏瀬 義倫・齋藤 幸夫

平成30年10月28日(日)に、深谷市総合体育館(深谷ビッグタートル)で「心も身体も健康に!～つながる 広がる 福祉の輪～」をテーマに、第13回深谷市福祉健康まつりが開催されました。毎年、県内社会福祉施設、関係福祉団体、医療団体など約100の団体がアトラクションや屋台ブースなどを催し、まつりを盛り上げます。

埼玉県診療放射線技師会第四支部では、公益活動の一環として「あなたのための医療画像展」を掲げて毎年参加しており、「骨密度測定」をメインに「被ばく相談」「子どものためのスーパーボールすくい」「パネル展示」「コニカミノルタ ワークステーション展示」を催しました。

今年は骨密度装置がトラブルに見舞われ開催時間が短くなってしまいましたが、300人を超える来場者があり、多くの市民の方々に参加していただきました。

これからも、このような活動を通して、われわれ診療放射線技師の職種・役割を広く知っていただき、多くの方々の健康維持のお手伝いできればと思います。



第13回深谷市福祉健康まつり実行委員

会員名	施設名	会員名	施設名
齋藤 幸夫	深谷赤十字病院	高井 太市	小川赤十字病院
清水 浩和	熊谷総合病院	坂本 里紗	深谷赤十字病院
大野 涉	羽生総合病院	柏瀬 義倫	深谷赤十字病院
新井 偉生	東松山市立市民病院	長沼 紗由美	深谷赤十字病院
横田 文克	秩父市立病院	浅見 有希	深谷赤十字病院
萩原 貴之	行田中央総合病院		

協賛メーカー

コニカミノルタヘルスケア株式会社 本多さま

平成 30 年度 支部合同勉強会開催報告

第四支部 柏瀬 義倫・齋藤 幸夫

平成 30 年 11 月 10 日（土）に、熊谷市のホテルヘリテイジ四季の湯温泉で支部合同勉強会が開催されました。

毎年各支部から多くの方に参加頂いていますが、今年は学生の参加者も見受けられ、総勢 136 人と大盛況の勉強会となりました。内容は以下の通りです。

支部合同症例検討会『身に着けたい読影力』

コメンテーター 小川赤十字病院 高井 太市

CT (PE + DVT) …第一支部 さいたま市立病院 中野 雄太

RI (狭心症) …第二支部 埼玉石心会病院 山浦 良太

MMG…第三支部 埼玉医科大学 西村 明香

MRI (脳梗塞) …第四支部 深谷赤十字病院 登坂 崇史

CT (胆のう疾患) …第五支部 三郷中央総合病院 長坂 純

CT (IgG4 関連疾患) …第六支部 上尾中央総合病院 井田 篤

エコーハンズオンセミナー

『見て・聞いて・触ってみよう！心・血管エコーの勘所』

所沢ハートセンター 検査課 谷川 浩史

技師講演

『発表スライドの作り方』

上尾中央総合病院 佐々木 健
済生会川口総合病院 森 一也

技師討論会

『若いうちに身に着けたいグロースマインドセット～「失敗」と書いて「せいちょう」と読む～』

埼玉県済生会栗橋病院 内海 将人
上尾中央総合病院 内田 瑛基

毎年恒例の支部合同症例検討会ですが、今年は CT、MRI、RI、MMG のモダリティ別に症例検討が行われました。どの演題も充実した内容で、質疑応答でも積極的な質疑が飛び交いました。また今年は、エコーハンズオンセミナーで実際にエコーの体験ができたり、技師討論会ではアンケートを基に出席者の体験談を発表してもらったりと、多くの方々に参加していただける勉強会になりました。勉強会後の懇親会も支部や世代を超えた交流が見られ、とても有意義な時間となりました。

今後も会員の皆さまが参加しやすく、興味ある内容を提供できるように努めてまいります。

最後に、実行委員の方々、ご協力いただいたメーカーの方々、大変お疲れさまでした。



演者の皆さまお疲れさまでした!!

- 巻頭言
- 告知
- 示
- 会
- 告
- お知らせ
- 誌上講座
- 本会の動き
- 強各
会支
情部
報勉
- 掲各
示支
板部
- コ求
ーナ
ー人
- 議
事
録
- 会
員
の
動
向
- 役
員
名
簿
- 申
込
書
- シ
年
ユ
間
ス
ル
ケ

第六支部

埼玉県診療放射線技師会

第六支部

1. 巻頭言 田中里奈
2. 第2回定期講習会報告
3. いきいきフェスティバル報告
4. 総会案内および第3回定期講習会案内

巻頭言

『健康管理を考える』

さいたま赤十字病院 田中里奈

「健康管理も仕事のうち」と言われている。確かに体調不良や疲労が蓄積した状態だとミスが増え、業務のパフォーマンスが落ちてしまう。そしてその穴埋めを誰かが担わなければならない。毎日の業務を最高の状態でこなすためにも、良い環境で仕事をするためにも健康管理は欠かせないものである。

学生の頃は体調を崩すことなど滅多になく、学校にもほとんど休まず通っていた。しかし、ここ数年は季節の変わり目には必ずといっていいほど風邪をひく。体調を崩す頻度が多くなり、回復するのに時間がかかるようになった。なぜ体調を崩すのか。身近なようで意外とできていない健康管理について改めて考えてみた。

就職して一人暮らしを始めてからというもの、なかなか健康に対する自己管理ができていないのが現状だ。時間やお金に自由が増えた分、休日やアフター5に友人と食事やお酒を楽しむ機会が圧倒的に増えた。自炊するときも自分の好きなものばかり作ってしまう。苦手な食材にはなかなか手が出なくなる。栄養バランスを考えた食事を作ることは思っていた以上に難しい。今日こそは早く寝ようと思っても、結局気が付いたら0時をまわっているし、残業や夜勤で十分な休養が取れない日が続くこともある。こういった自己管理不足が免疫力を下げ、体調不良を招いてしまうのだろう。

規則正しい生活、バランスの取れた食事、適度な運動、しっかりとした休養。昔から健康を保つために必要な事柄は基本的に変わっていない。生活習慣を整えることが健康的な生活への第一歩である。社会人5年目になり後輩も増えた。勉強のために遅くまで残業している後輩たちに、業務だけでなく健康管理の重要さを教えることも先輩としての役割だと思う。未来の自分のためにも、より良い職場環境作りのためにも健康管理に気を配っていきたい。

平成 30 年度

第六支部 第 2 回定期講習会報告

指扇病院 安川 紘平

平成 30 年 10 月 18 日（木）に、埼玉県立小児医療センターで、第六支部第 2 回定期講習会が開催された。今回は「術前 3D 画像作成の基礎」をテーマとし、各領域の術前 3D の作成方法や 3D 作成の注意点などを、3 人のかたに講演していただいた。

今回の講演では、医師が「何のために」、「どのような情報が得たいのか」をわかりやすく説明していただき、今後の検査に向けて、撮影方法から画像出しまで、今一度検討するために十分な知識が得られたと思う。また、3D 画像の作成法を通して、新人教育の紹介もしていただき、私自身、とても考えさせられる内容であった。

今後も撮影機器やワークステーションの性能は向上し、検査の幅は広がっていくことと思う。そんな中、検査の意図を理解し、求められる画像を提供するといった基本的な概念は、考え続けていかなければならず、今回の講演はとても有意義なものになった。

平成 30 年度

彩の国いきいきフェスティバル参加報告

上尾中央総合病院 放射線科 茂木雅和

平成 30 年 11 月 18 日（日）、伊奈町の埼玉県民活動総合センターで行われた『彩の国いきいきフェスティバル』に、第六支部の公益活動として参加させていただいた。このフェスティバルには支部活動として毎年参加をしているため、ご存知の方も多いのではないかと思われる。活動内容は、超音波装置を用いた骨密度測定・放射線に関するパネル展示・クイズ・被ばく相談など、県民の皆さま方に放射線について、ひいては診療放射線技師の活動について知って貰えるようなものを企画している。

今年は昨年と雨とはうってかわり、天候に恵まれた日となった。秋の陽気もあってか当日の会場内も参加者が多く、老若男女問わず技師会会場にも多数参加いただいた。その数は、208 人（骨密度測定、パネル閲覧・放射線クイズ含む）にも及ぶ来場となった。対応していた役員の方々には、この場を借りて感謝申し上げます。

私たち第六支部は、また来年も参加する予定でいますので、ご興味のある方はぜひ来場してみてください。

【役員名】

埼玉県立小児医療センター

山口明、牧隆史、中村聖、飯田瑞希、大久保麻優、畠山祥一

上尾中央総合病院

仲西一真、飯島竜、茂木雅和

さいたま北部医療センター

倉内克憲

彩の国東大宮メディカルセンター

矢野健太、小保方駿

(敬称略、順不同)

